

「多摩市通いの場戦略会議」について

1. 背景

多摩市の高齢化は全国平均を上回る速度で進み、今後も後期高齢者数の増加と介護サービスの担い手の減少は進展することが予測されている。できるだけ多くの高齢者に自立した生活を維持してもらえよう、高齢者が地域とつながる拠点となる「住民主体の通いの場」を推進していくことが課題である。

多摩市は地域づくりによる介護予防として、平成 28 年度から介護予防リーダーが中核となる地域介護予防教室を開始し、平成 30 年度からは誰でも始められる近所 de 元気アップトレーニングを展開してきた。ともに介護予防効果の高い通いの場であるが、市内の多様な通いの場については活動内容や参加者の実態等を把握しきれていない。今後も高齢者が増えていく中で通いの場を介護予防・生活支援に資する活動として推進するために、介護予防・フレイル予防推進員、生活支援コーディネーターと課題を共有し、協議する場として「多摩市通いの場戦略会議」を設けることとした。

2. 「通いの場戦略会議」概要

① 目的

- 多摩市の住民主体の通いの場が介護予防と生活支援の一体的な展開に資する活動になるよう、課題を共有し、創出・継続支援に向けて協議を行い、高齢者が自立生活を維持・継続できる地域づくりの推進を図る。

② 主な協議事項

- 通いの場として報告している団体の活動状況の把握と分析
- 不足している資源の把握、新たな創出、継続支援
- 通いの場の評価、効果検証、適正数の検討
- 第 10 期計画に向けて通いの場の課題整理、目標設定、
- 地域介護予防教室や近所 de 元気アップトレーニングに関する協議
- 認知的フレイルの予防に取り組む新たな通いの場の展開
- 地域リハ職等関係機関と第 2 層との連携強化
- その他通いの場に関すること

③ 方法

- 年 3～4 回程度開催（初年度は下半期から開始のため 2 回）
- 期間：令和 6 年度～8 年度。その後の開催については 8 年度中に検討
- 実施主体：高齢支援課、介護予防・フレイル予防推進員
- 参加者：第 2 層生活支援コーディネーター、議題により第 1 層生活支援コーディネーター、地域リハビリテーション活動支援事業登録リハ職、認知症地域支援推進員等

3. 令和 6 年度実績

	日時	主な議題
第 1 回	令和 6 年 11 月 29 日	- 通いの場の現状と課題 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター植田先生講義 ～通いの場把握と効果的な支援戦略立案のヒント～ - 通いの場実態把握に向けて協議
第 2 回	令和 6 年 12 月 25 日	- 通いの場実態把握に向けて協議(具体的方法、スケジュール) - 近所 de 元気アップトレーニング活動支援事業の新たな取組 「認知力アップトレーニング」について素案
第 3 回	令和 7 年 1 月 10 日	「認知力アップトレーニング」実施に向けて協議
第 4 回 (予定)	令和 7 年 2 月 25 日	「認知力アップトレーニング」配布資料の説明

4. 令和 7 年度の予定

- 通いの場の実態把握の進捗状況
- 把握結果の分析、評価、地域の特性等
- 不足している資源の検討、新たな創出に向けて協議